

## 二宮町幼稚園・保育園・小学校研修会開催される

一色小の実践発表より

8月20日(水)、二宮町民センターにおいて、二宮町幼稚園・保育園・小学校研修会が開催されました。今年度は52名の先生方が参加しました。最初に一色小学校の本荘紀美子先生から、(1)町の概要、(2)スタートカリキュラムのねらい、(3)一色小学校の実践、(4)成果と課題の4つについて報告がありました。先生は17枚ものスライドを活用され、わかりやすく丁寧に説明をしてくれました。

幼稚園の先生からは、『一色小学校でのスタートカリキュラムについての発表では、「どんな事をするのだろう?」「何があるんだろう?」と大人もワクワクする場所が設けられており、「やってみる」という一色小学校の先生方の強い気持ちや願いが込められている様子がよく分かりました。』という感想をいただきました。また、小学校の先生からは『子ども達のやりたい気持ちを大切にしたいし、そのような心のゆとりを大事にしたいと思います。私たち教師は、授業のねらいを大切にしつつ、子ども達が主体的に学ぶために、どのような課題を設定したらよいか。子ども達のこれまでの育ちや持っている能力を踏まえて、見通しをもって、学習や授業をデザインしていけると良いと改めて思いました。』という感想をいただきました。

その後、東海大学児童教育学部児童教育学科准教授の實來生志子先生から「幼稚園・保育園・小学校の連携の推進について ~子どもの学びや育ちの連続性を大切にスタートカリキュラムについて~」という演題でご講演をいただきました。

實來先生は、動画とスライドを活用し、『1年生はゼロからのスタートではない。子どもの考えるチャンスを奪わない。知識を押し付けない、否定しない、待つことが大切。子どもの意思を尊重し、任せる。』といった発想の転換を図る必要があることを熱く語ってくれました。

實來生志子先生の講演より

## 2.スタートカリキュラムのねらい

- ・安心感のある学校生活を通じて、自分の力を発揮できるようにする。
- ・幼稚園や保育園で身に着けた力を発揮して、主体的に学ぶことができるようにすること。

入学式の話思い出しました  
「サイ」ではなく「ゾウ」になってほしいな



さらにご講演終了後に、グループ協議・質疑応答・感想記入を行いました。感想には、今回の研修会に参加してくださった方々がそれぞれ多くの学びを得たことがうかがえました。その一部を紹介します。

・子ども達のやりたい気持ちを大切にしたいし、そのような心のゆとりを大事にしたいと思います。私たち教師は、授業のねらいを大切にしつつ、子ども達が主体的に学ぶために、どのような課題を設定したらよいか。子ども達のこれまでの育ちや持っている能力を踏まえて、見通しをもって、学習や授業をデザインしていけると良いと改めて思いました。

・主体的で対話的な深い学びとよく言われるが、本来、こども(幼児期)は、主体的で対話的であることと大人が理解して、その姿や力をサポートし、様々な力につなげていこうと思いました。これからも子どもから学び続けたいと思います。

・前の学校段階で学んだことを生かしていくという考え方は、中学校と小学校の連携においても同じ事が言えると思いました。小学校でできたことを生かして、中学校でもできることを増やしていくという考え方が大切だと思いました。子どもの主体性を無駄にせず、見守るという姿勢も、子どもの達成感のために重要だと感じました。

・二宮町は、この幼小連携の取組みを長く続けていること、教育委員会、各小学校等、皆様のご尽力に寄ることであると感謝しています。ここ数年、私ども幼稚園も幼小連携の研究に主体的に取り組むことを進めています。教育の方法等、反省も含めて、研修会に於いて学ぶことが大きいです。まずは、「子どもの声を聞く」「子どもを信じる」「子どもをよく見る」等、学びを次の保育に活かしていきます。

にのみや学園では、今年度も引き続き、子どもたちや先生同士の交流の機会を大切にして、学園目標「認め合い、高め合う、二宮の子」の実現を目指していきます。

感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

